

東濃地科学センターの状況

【土岐地区】

1. 土岐地球年代学研究所施設運転状況
 - ・加速器質量分析装置(AMS)： ^{14}C 測定(1/5～)
2. 地質環境の長期安定性に関する研究
 - ・調査技術の開発・体系化を継続
 - ・長期予測・影響評価モデルの開発を継続
 - ・年代測定技術の開発を継続

【瑞浪地区】

1. 地下水の環境モニタリング調査
 - 〔瑞浪用地〕
 - ・研究坑道内において掘削したボーリング孔(05MI01、07MI07、09MI17-1、09MI19、09MI20、09MI21、10MI23、10MI26、12MI32、12MI33、13MI39～41号孔)における地下水水圧観測を継続
 - ・研究坑道内において掘削したボーリング孔(05MI01、07MI07、09MI20、09MI21、10MI26、12MI32、12MI33号孔)、換気立坑(深度500m、深度400m、深度300m、深度200m、深度100m)および深度500m研究アクセス北坑道、深度500m予備ステージ、冠水坑道における地下水水質観測を継続
 - ・地表からのボーリング孔(MSB-1～4、05ME06号孔)を用いた地下水水圧観測を継続
 - ・地表からのボーリング孔(MSB-2、4号孔)を用いた地下水水質観測を継続
 - ・地表からのボーリング孔(MIZ-1号孔)の地下水水位観測を継続
 - 〔正馬様用地〕
 - ・なし
 - 〔広域地下水流動研究対象地域〕
 - ・地表からのボーリング孔(DH-2号孔)を用いた地下水水圧・水質観測を継続
2. 瑞浪用地周辺の環境影響調査
 - ・河川水の水質測定及び流量観測を継続(狭間川)
 - ・水位観測を継続(瑞浪用地周辺井戸)
3. その他
 - ・瑞浪用地における立坑埋め戻し面の沈下に係る埋め戻し完了後の状態観察(HP掲載)

【その他のお知らせ】

- ・第39回東濃地科学センターセミナー「来たる南海トラフ地震に備えて～地震発生の巢に迫る！～」を開催予定(3/1)